

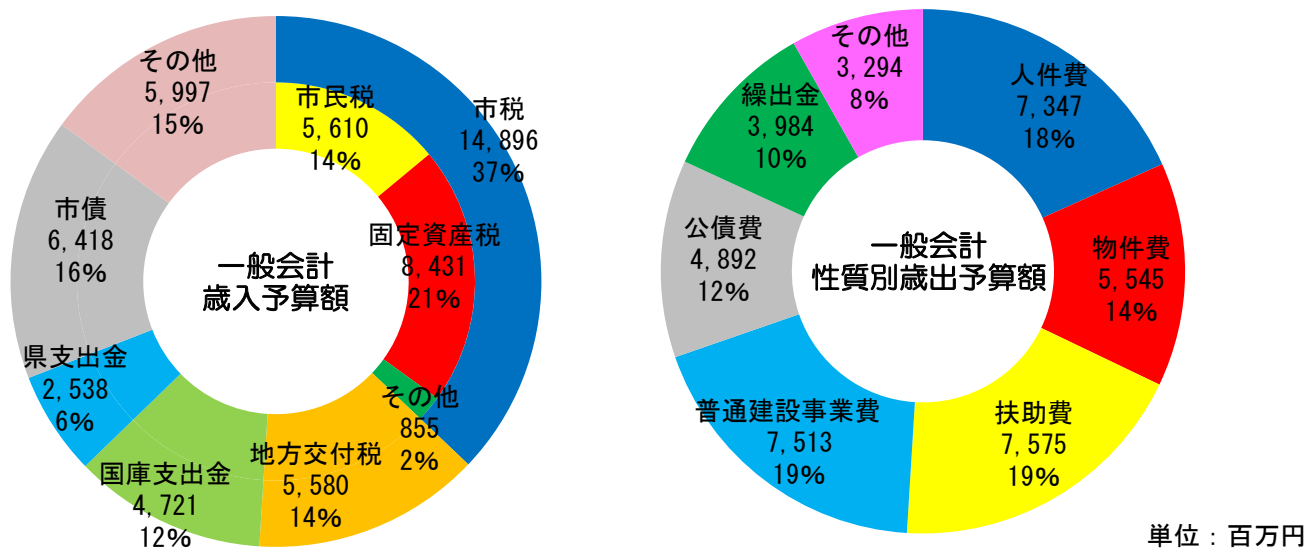
平成30年度 四国中央市の当初予算概要

今年度の一般会計の予算規模は、401億5,000万円と前年度に比べ41億8,000万円の増額となり、平成16年の市町村合併以後最大の積極予算となりました。編成にあたっての基本方針は、新市建設計画の総仕上げや、前期基本計画の最終年度としての第二次総合計画の更なる推進及び地方創生事業への取り組みを、積極的に推進していくこととしております。

また下水道事業が、平成30年度から公営企業法の一部適用を受ける事業会計に移行するため、特別会計の予算規模が減少し、事業会計の予算規模が増加しています。

一般会計及びその他の会計を合わせた予算規模は前年度より5.8%増額し、総額で778億3,292万円となりました。

予算規模	平成30年度予算	平成29年度予算	増減額	増減率
一般会計	401億5,000万円	359億7,000万円	41億8,000万円	11.6
特別会計	242億3,000万円	276億7,300万円	▲34億4,300万円	▲12.4
事業会計	134億4,640万円	99億150万円	35億4,490万円	35.8
財産区	652万円	685万円	▲33万円	▲4.8



四国中央市議会議員政治倫理条例

本条例は、議員の政治倫理を確立し、地方自治の本旨にのっとり、市民の代表者として市政に携わる機能と責務を深く自覚するとともに、市民の信頼に値する倫理的義務を負うことを認識し、公正で開かれた民主的な市政発展に寄与することを目的として、平成23年4月1日から施行されています。

議員名簿(議長・副議長・委員会)

議長 曾我部 清 副議長 井川 剛 ◎委員長 ○副委員長

常任委員会			特別委員会			
総務市民 ◎西岡 政則 ○国政 守 三好 平 山本 照男 吉田善三郎 石津千代子 谷 國光 曾我部 清	教育厚生 ◎石川 剛 ○眞鍋 幹雄 飛鷹 裕輔 吉原 敦 谷内 開 篠永 誠司 井川 剛	産業建設 ◎三宅 繁博 ○苅田 清秀 山川 和孝 川上 賢孝 原田 泰樹 青木 永六 石川 秀光	議会改革 ◎篠永 誠司 ○吉原 敦 三宅 繁博 川上 賢孝 吉田善三郎 青木 永六 西岡 政則	地方創生 ◎山川 和孝 ○眞鍋 幹雄 三好 平 谷内 開 苅田 清秀 原田 泰樹 石川 秀光	広報ICT ◎石津千代子 ○谷 國光 飛鷹 裕輔 石川 剛 国政 守 山本 照男 井川 剛	議会運営委員会 ◎吉田善三郎 ○石川 秀光 山川 和孝 川上 賢孝 苅田 清秀 青木 永六 西岡 政則



四国中央市議会

第10回 議会報告会

平成30年 8月18日 (土) 午後7時～新宮公民館

1. 開会
2. 代表者あいさつ
3. 議員自己紹介
4. 市議会の役割について
5. 平成30年度 四国中央市の当初予算について
6. 常任委員会、特別委員会報告
 ■総務市民委員会 ■教育厚生委員会 ■産業建設委員会
 ◇議会改革調査 ◇地方創生 ◇広報ICT推進
7. 質疑・応答
8. 閉会

四国中央市議会の役割

市役所は、福祉や教育、上下水道など市民生活に密着した仕事をしています。このため、市民の意見が市政に反映されなければなりません。

市を住みよいまちにしていくためには、市民が自ら考え、話し合い、問題を解決していくことが最も望ましい姿です。

しかし、市民全員が集まって話し合うことは実際には不可能です。そこで、選挙によって市民の代表者である「市議会議員」と「市長」を選び、市民に代わって市政を運営しています。

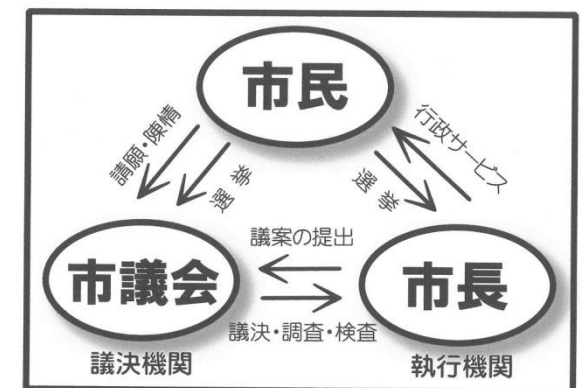
市議会は、市民から選挙で選ばれた議員で構成され、市長が提案する事業計画や予算、条例案などを市民の立場で決定する議事機関、また適正な事務執行を行っているかを市民の目線でチェックする監視機関としての役割があります。

市長は市議会の決定に沿って施策を実施することになり、市議会と市長は独立・対等な立場で、お互いにけん制・協力し合って、よりよい市政の実現を目指しています。

現在の四国中央市議会は、議員定数が22名で、議員の任期は平成28年11月28日から平成32年11月27日までの4年間です。

議長と副議長は、議員の中から選ばれ、議長は市議会を代表する最高責任者であり、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。副議長は議長に事故があるとき、または欠けたときに議長の代わりに職務を行います。

そして、市議会の運営を円滑に進めるために、議会には議会事務局が置かれています。議会事務局では、定例会、臨時会、委員会等の運営の補助や議会活動に必要な調査、会議録の作成、議会だよりの発行などの事務を行っています。



総務市民委員会

【3月議会】
○平成30年度 四国中央市 一般会計予算〔所管分〕

- ・新庁舎建設事業〔継続〕 14億2,418万円
新庁舎での業務開始に向けて、移転や備品購入費などの予算が計上されています。
【基本理念】
*市民の安全・安心な暮らしを支える庁舎 *市民に親しまれ、利用しやすい庁舎
*環境に配慮し、かつ効率的・機能性を重視した経済的な庁舎
- ・市民文化ホール建設事業〔継続〕 9億8,930万円
四国のまんなかという地の利を生かした交流の場として整備を進めている市民文化ホールについて、平成31年度の開館に向けて整備を進めています。

- 【6月議会】
 - ・四国中央市市民文化ホール条例の制定について
施設の使用料には冷暖房費用を含んでいます。文化ホールの設計上、窓のない部屋もあることから、空調という考え方をしています。
また屋外を利用するイベント開催時にも、電源利用としての使用料が徴収されます。
 - ・四国中央市役所駐車場条例の制定について
障がい者等の利用を想定した屋根付き駐車スペースは、市役所東駐車場に3台・新設する立体駐車場には7台分の駐車スペースを用意しています。
なお、市役所に用務で訪れた方は無料となります。

教育厚生委員会

【3月議会】
○平成30年度 四国中央市 一般会計予算〔所管分〕

- ・認定こども園整備事業〔継続〕 4億4,291万円
平成31年4月に開園を予定している土居東認定こども園（仮称）の整備をすすめ、子育て環境の充実に図ります。*6月20日着工
【施設概要】
*敷地面積：3,906.97平方メートル *構造・規模：木造平屋建て *定員：105人
- ・子育て世代包括支援センター事業〔新規〕 177万円
妊産婦・乳幼児とその保護者が安心して健康な生活ができるようきめ細やかな相談支援を行い、関係機関との連絡調整や支援プランの策定を行います。
【事業内容】
*妊婦相談 *育児相談 *産後ケア事業 *子育て支援発育発達相談など

- 【6月議会】
 - ・特別支援学校分校設置にかかる、三島小学校の整備事業について
8月に設計業者による現地の調査を行い、愛媛県や三島小学校とも事務協議を行います。
平成31年3月に実施設計が完成する予定です。

産業建設委員会

【3月議会】
○平成30年度 四国中央市 一般会計予算〔所管分〕

- ・産地収益力強化支援事業〔新規〕 2億3,065万円
JAうまなど、東予圏域の4つの農業協同組合が共同で実施する、さといも共同選果場整備事業に補助金を交付することにより、「伊予美人」のブランド化を推進し地域産業の活性化を図ります。

- ・津根工業団地造成事業〔継続〕 7億6,750万円
市内企業の工業団地需要に応えるため、土居町津根地区における工業団地の造成を実施します。
【事業概要】
*開発面積：約12.8ha *開発概要：約10haの工場用地確保

- ・東予東部圏域振興イベント〔新規〕 1,835万円
「ものづくり産業」の一大集積地である東予東部圏域は、赤星山や赤石山系・石鎚山など、全国に誇る観光資源を有しており、地域が持つ魅力と可能性を発見するために、愛媛県と西条市・新居浜市との共催によりPRイベントを開催します。

- 【6月議会】
 - ・伊予三島駅、周辺施設整備事業（駅舎耐震改修事業）について
全体の事業費は1,494万円で市の負担額は609万円である。
伊予三島駅の自由通路については、市の行政財産として維持管理を行っていることから、自由通路分を負担することになっています。

<特別委員会>

特定の案件を審査するために設置される委員会です。決算委員会なども含まれます。

議会改革調査特別委員会

議会活動の基礎となる、議会基本条例の早期の制定を目指し協議を行っています。

地方創生特別委員会

四国中央市が元気な自治体でいられるよう、人口減少への対応や企業誘致などへの調査・研究を行っています。

広報ICT推進特別委員会

議会報告会等を開催し、開かれた議会を目指し、議会が市民の皆さんにとって身近なものとなるような活動について、調査研究を行っています。
また議会活動にタブレット端末を導入し、議会の活性化を図るよう取り組んでいます。

<議会運営委員会>

議会の日程や、議員間での決め事の協議などを行い、議会を円滑に運営するための協議機関です。

四国中央市マスコットキャラクター
『しこちゅ〜』



